

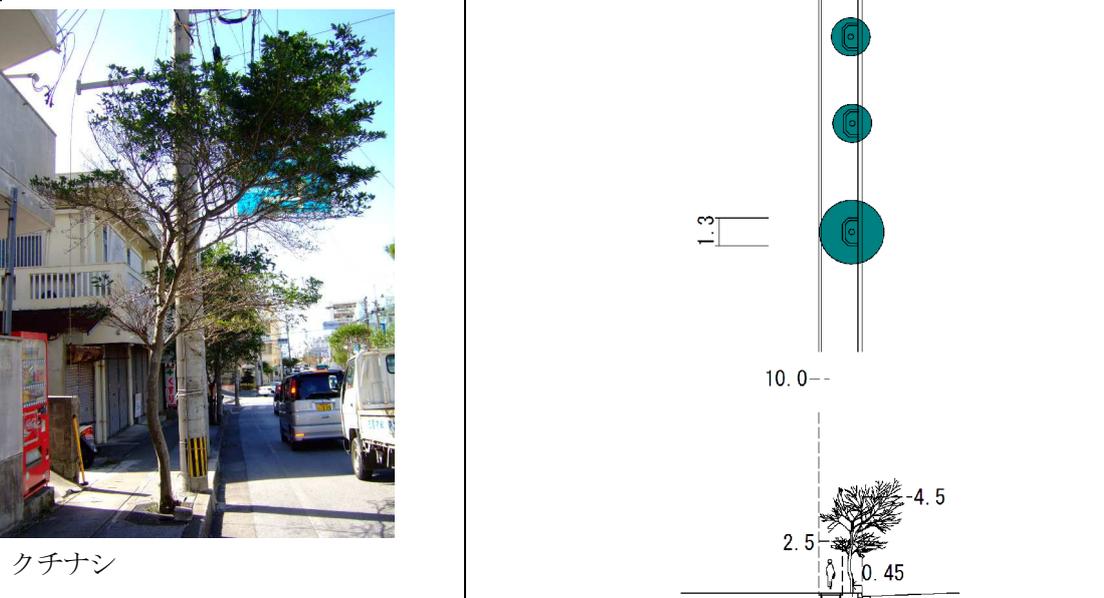
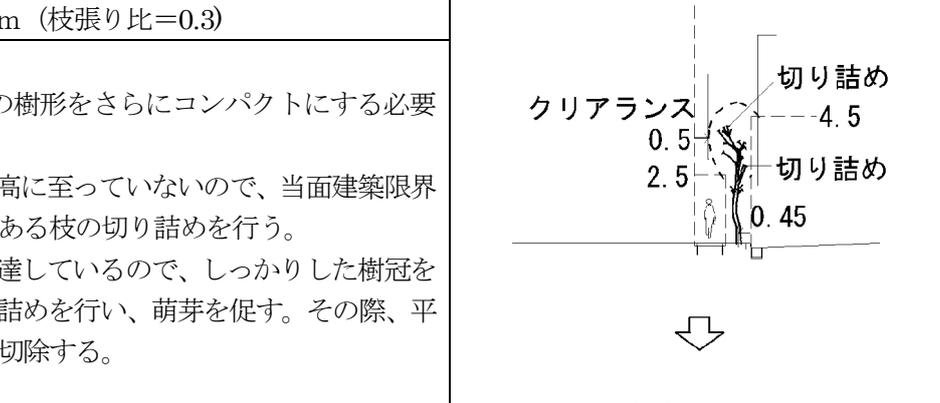
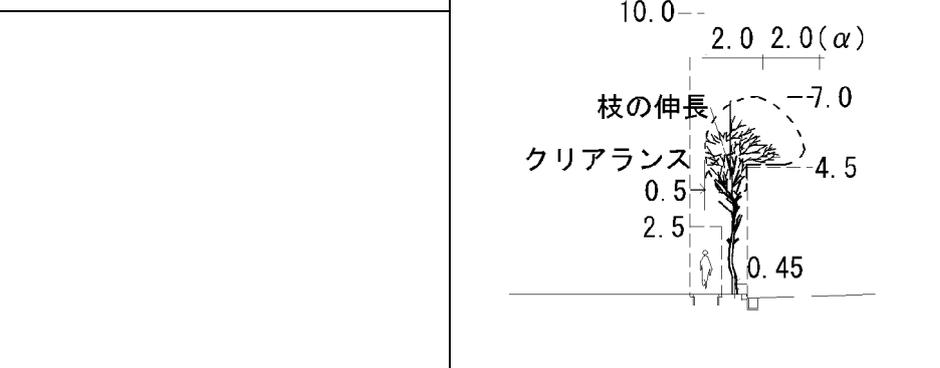
道路名：崎山松川線 a

植栽樹種	リュウキュウコクタン	図面	
現況写真			
考察	<p>リュウキュウコクタンの生育は良好、歩道幅員は2.5mと狭いが、樹形をコンパクトにまとめて歩道空間に納めている。しかし、車道側は建築限界に枝が侵入している。</p>		<p>※プロポーション $W=3.0-(0.5+0.5) \times 2=4.0$ $H=4.0 \div 0.5=8.0$</p>
計画のテーマ・目標			剪定計画
剪定タイプ：	自然樹形：玉形		
計画樹冠：H=8.0 . W=4m (枝張り比=0.5)	剪定の要領		
<p>まだ目標樹高に至っていないので、樹冠を上部にもっていきよう、上方枝の切り詰めは行わないこと。 当面は、建築限界に進入した支障のある枝の切り詰めと、混み過ぎた枝の整理を行う。</p>			
特記事項			

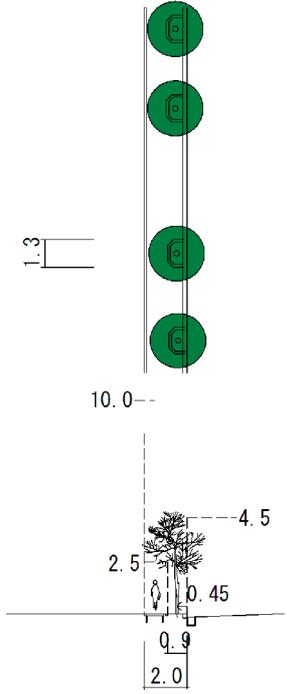
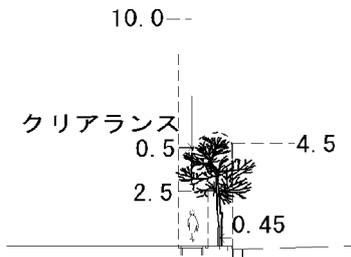
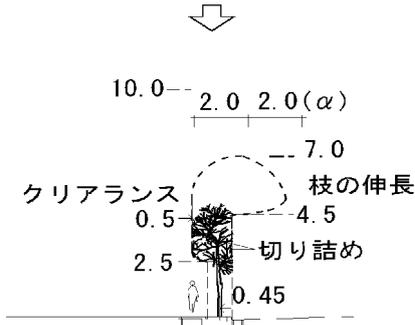
道路名：崎山松川線 b

植栽樹種	アカギ	図面	
現況写真			
考察	<p>アカギは柵化された中に植栽され生育は良好であるが、柵穴が小さく生育に支障をきたしている。</p>		<p>※プロポーション $W=3.0-0.5 \times 2=5.0+\alpha 2=7$ $H=5 \div 0.6=8.0$ ※ダムに隣接しているのでクリアランスの考慮なし。</p>
計画のテーマ・目標			<p>剪定計画</p>
剪定タイプ：育成タイプ	自然樹形：傘状形		
計画樹冠：H=8.0 . W=7.0m (枝張り比=0.6)			
剪定の要領	<p>まだ目標樹高に至っていないので、当面は建築限界に進入し、通行に支障のある枝の切り詰めを行う。上方枝はそのまま伸ばすこと。</p>		
特記事項	<p>アカギの根元周りの穴は 30cm しかなく、被覆ブロックに根が食い込んで倒木しやすい。根元穴を拡大する必要がある。</p>		

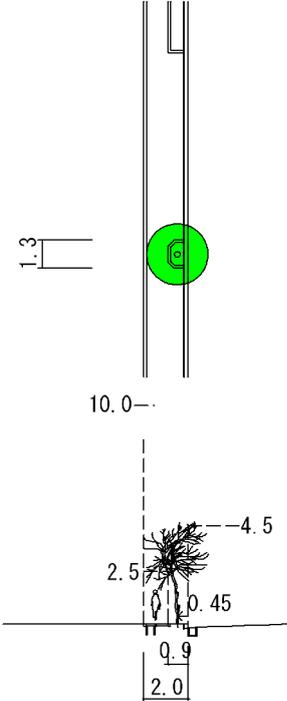
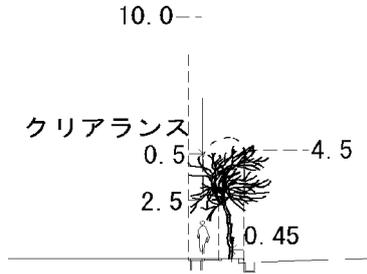
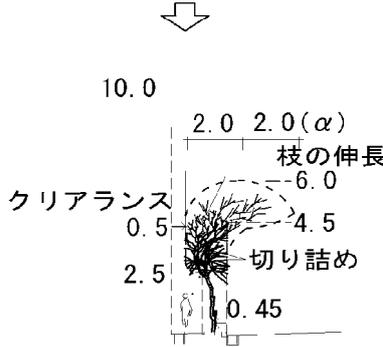
道路名：道路名：上間三原線 a

<p>植栽樹種</p>	<p>クチナシ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>		
<p>考察</p>	<p>歩道幅員が2mと狭い中で植栽が行われている。クチナシが樹高3m程度に育っているが、見た目には緑量感不足。イスノキ、コガネノウゼンは幹途中から切除されたものもあり、欠損木となって目立つ。</p>	<p>※プロポーション $W=2.0-(0.5+0.5) \times 2=2.0+\alpha 2=4$ $H=2 \div 0.3=7.0$</p>
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成・抑制タイプ</p>	<p>自然樹形：卵円形</p>	
<p>計画樹冠：H=7.0 . W=4m (枝張り比=0.3)</p>	<p>剪定の要領</p>	
<p>歩道幅員が狭く、卵円形の樹形をさらにコンパクトにする必要がある。 育成タイプは、まだ目標樹高に至っていないので、当面建築限界にはみ出した交通に支障のある枝の切り詰めを行う。 抑制タイプは、目標樹高に達しているので、しっかりした樹冠をつくるため、上方枝の切り詰めを行い、萌芽を促す。その際、平絡み枝や行枝などの中枝を切除する。</p>		
<p>特記事項</p>		

道路名：上間三原線 b

植栽樹種	リュウキュウコクタン	図面
現況写真		
 <p data-bbox="347 958 614 992">リュウキュウコクタン</p>		
<p data-bbox="183 1108 790 1142">樹高は目標樹形に近づいているが、樹形が崩れ気味。</p>		<p data-bbox="817 1108 1029 1142">※プロポーション</p> <p data-bbox="817 1153 1197 1187">$W=2.0-(0.5+0.5) \times 2=2.0+\alpha 2=4$</p> <p data-bbox="817 1198 997 1232">$H=2 \div 0.3=7.0$</p>
計画のテーマ・目標	剪定計画	
<p data-bbox="183 1321 558 1355">剪定タイプ：育成・抑制タイプ</p> <p data-bbox="582 1321 710 1355">自然樹形：</p>		
計画樹冠：H=7.0 . W=4.0m (枝張り比=0.3)		
剪定の要領		
<p data-bbox="215 1451 518 1485">先述のクチナシに準ずる。</p> <p data-bbox="183 1496 941 1568">樹形は玉形であるが、実際には生育空間が狭いので、盆栽的な感じになる。</p> <p data-bbox="183 1579 941 1650">樹形の矯正のために、切り返し剪定を行い、新たな萌芽を促すことなどもする。</p>		
特記事項		

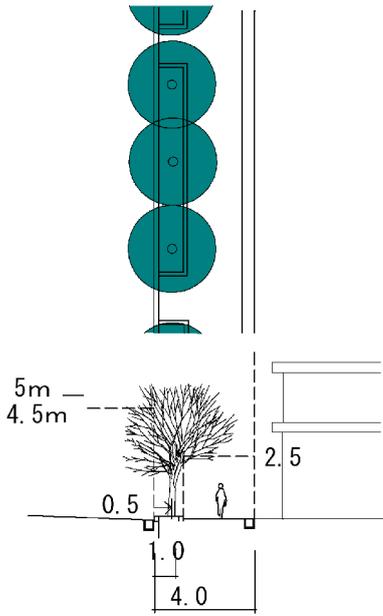
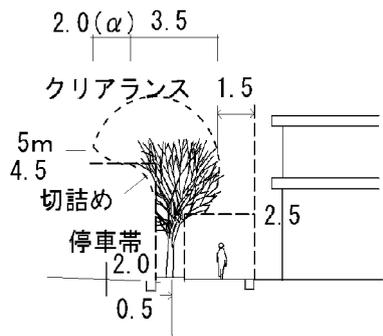
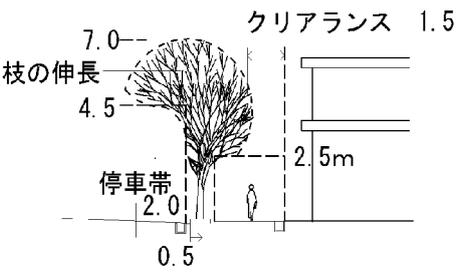
道路名：上間三原線 c

<p>植栽樹種</p>	<p>コガネノウゼン</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">コガネノウゼン</p>	
<p>考察</p>	<p>ほぼ目標樹高に至っているが、枝の出方が粗放的。 中枝が混んでいる。</p> <p style="text-align: right;">※プロポーション $W=2.0-(0.5+0.5) \times 2=2.0+\alpha 2=4$ $H=2 \div 0.3=6.0$</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成・維持タイプ</p>	<p>自然樹形：玉形</p>	
<p>計画樹冠：H=6.0 . W=4.0m (枝張り比=0.5)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<p>先述のクチナシに準ずる。</p>	
<p>特記事項</p>		

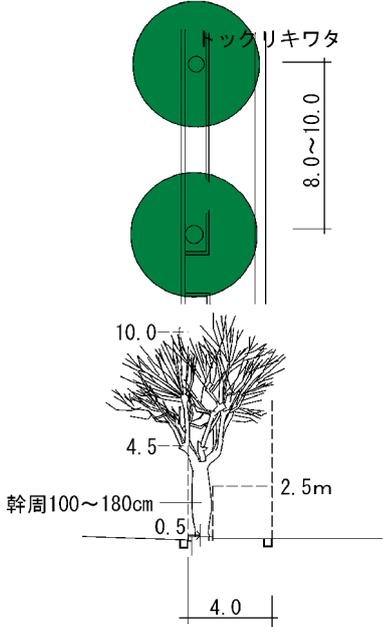
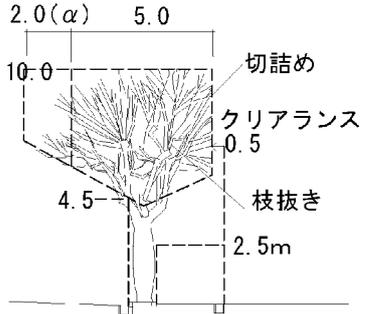
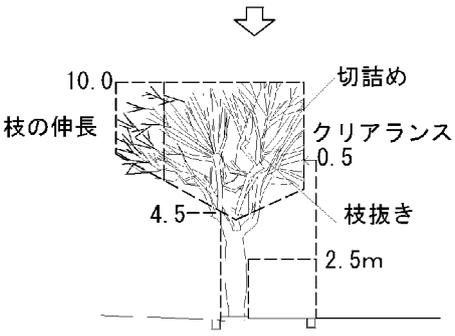
道路名：松川三原線

<p>植栽樹種</p>	<p>フクギ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div data-bbox="183 324 766 750" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="204 768 727 837" data-label="Caption"> <p>剪定が行われたフクギ、寄せ植えされているので緑量感がある</p> </div> <div data-bbox="885 309 1236 1012" data-label="Diagram"> </div>	
<p>考察</p>	<p>フクギの生育は極めて良好。植栽間隔が 2m程度と狭く、寄せ植え（列植栽）になっているので緑量感もあり、街並み景観を向上させている。最近剪定された形跡があるが、下枝から 3m程度まで下枝を切除したものは樹形バランスが悪い。</p> <p>※プロポーション $W=2.5-(0.5+0.5) \times 2=3.0$ $H=3 \div 0.4=8.0$</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成・維持タイプ</p>	<p>自然樹形：円錐形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0. W=3.0m（枝張り比=0.4）</p>	<div data-bbox="997 1310 1348 1624" data-label="Diagram"> </div>	
<p>剪定の要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては目標とする高さまで至っていないので、しばらく伸長を促す。 ・車道側の枝は建築限界に侵入した枝は切り詰めを行う。歩道上の枝は高さ 2.5m程度から伸長した枝を残す。 	
<p>特記事項</p>	<div data-bbox="997 1635 1348 1993" data-label="Diagram"> </div>	

道路名：与儀国場北線 a

<p>植栽樹種</p>	<p>イスノキ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p> 		 <p>※プロポーシオン $W=4-(0.5+1.5) \times 2=4.0+\alpha 2$ $H=4 \div 0.5=8.0$</p>
<p>考察</p> <p>現況の樹冠は目標値の樹高 5m、枝張り 3.5mと同程度で骨格となる樹幹のバランスは良い。</p> <p>しかし、植栽間隔が 3~3.5mと狭いことやからみ枝や立ち枝等の不要枝が多く、混みすぎていることから、これら不要枝の整理を行い病虫害の発生が少ない風通しの良い樹冠とする必要がある。</p>		<p>剪定計画</p>  <p>↓</p>  <p>□剪定後の状況</p>
<p>計画のテーマ・目標</p> <p>街並みの整然とした街路樹景観づくり</p>		
<p>剪定タイプ：維持</p>	<p>自然樹形：卵円形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0 . W=6.0m (枝張り比=0.6)</p>		
<p>剪定の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し剪定を主体に三番枝を整理し、卵円形を意識した剪定に努める。 ・ 頂部優勢を意識して、頂部付近の枝の密度を調整する。 ・ 現況より樹高、枝張りとも 0.5mほど小さくする。 		
<p>特記事項</p> <p>建築限界に枝が侵入するが、その空間は停車帯なので容認することで卵円形の樹形が維持可能。</p>  <p>□剪定後の状況</p>		

道路名：与儀国場北線 b

<p>植栽樹種</p>	<p>トックリキワタ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>大きく育ったトックリキワタ</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
<p>考察</p>	<p>トックリキワタは、一部に幹周り 180cm を越えるものがあり、樹形維持・再生タイプの剪定が必要。</p> <p>※プロポーション $W=4 \cdot (0.5+0.5) \times 2=6.0 + \alpha^2=8$ $H=6 \div 0.6=10.0$</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：維持・縮小タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>	
<p>計画樹冠：H=10.0 . W=8.0m (枝張り比=0.6)</p>		
<p>剪定の要領</p>	<p>ほぼ目標とする樹高に達しているのので、民有地のほうにはみ出した枝を切り詰め剪定し、混んだ中枝を透かす。</p> <p>車道上は建築限界をクリアしているのので、切り詰めは行わずそのまま枝を伸長させる。</p> <p>綺麗な盃状形にこだわらずともよい。</p>	
<p>特記事項</p>		

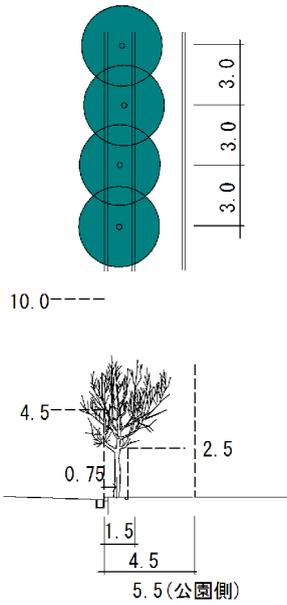
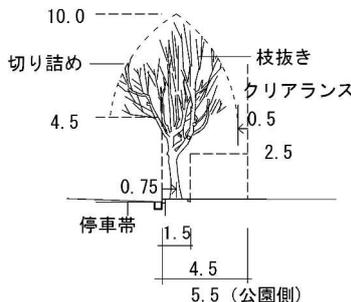
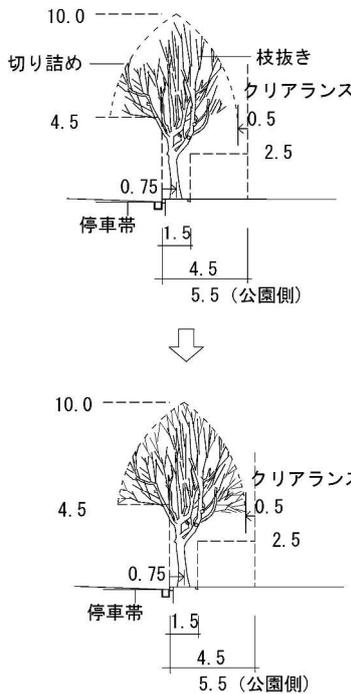
道路名：国場中央線 a

<p>植栽樹種</p>	<p>ホウオウボク</p>	<p>図面</p>	
<p>現況写真</p>	<p style="text-align: center;">大木のホウオウボク</p>		
<p>考察</p>	<p>全体として緑量感はあり、一定の緑化効果はある。 樹木毎の樹形が違いすぎて、まとまりに欠ける。</p>		<p>※プロポーション $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0 + \alpha 2=7.0$ $H=5 \div 0.5=10.0$</p>
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>		
<p>剪定タイプ：樹形再生タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>		
<p>計画樹冠：H=10.0. W=7.0m (枝張り比=0.5)</p>			
<p>剪定の要領</p>	<p>大木に育っていたが、昨年の害虫被害のため大きいものは幹高6～7m、低いものは幹高4～5mの位置で剪定されている。 全体にまとまりをつくるため、高さ5～6mの位置で再度切り戻しを行い、そこから萌芽する枝を利用して数年かけて樹形を作り替える。 本来は傘状形であるが、既に下枝が上がっているため盃状形として樹形をつくる。</p>		
<p>特記事項</p>			

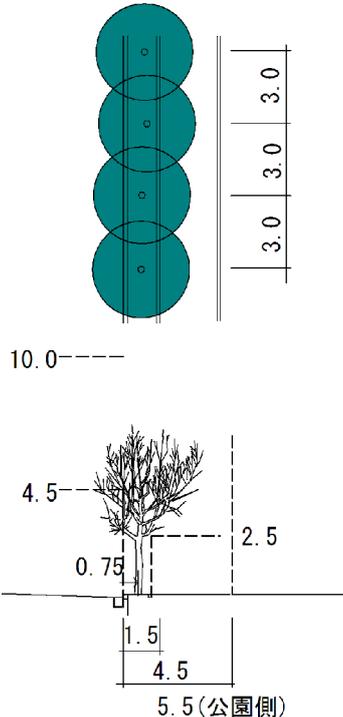
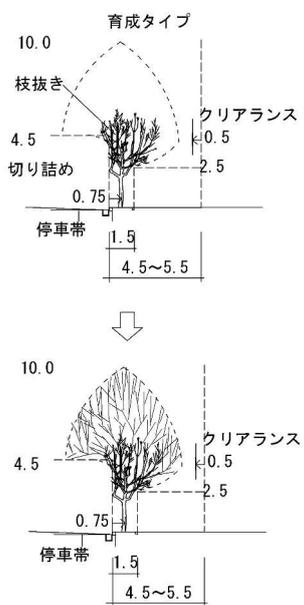
道路名：国場中央線 b

<p>植栽樹種</p>	<p>トックリキワタ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>		
<p>トックリキワタ</p>		
<p>考察</p>	<p>風の吹き通りがあると考えられ、そのため樹冠を低い位置に形成している。活力は良いので樹冠をもう少し上部へ誘導することは可能と考える。</p> <p>※プロポーション $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0+\alpha 2=7$ $H=5 \div 0.5=10.0$</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>		
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>	<p>剪定計画</p>
<p>計画樹冠：H=10.0. W=7.0m (枝張り比=0.5)</p>		
<p>剪定の要領</p> <p>当面は建築限界にはみ出した支障のある枝の切り詰め、混んだ中枝を透かし剪定にとどめ、樹冠を上部に誘導する。</p>		
<p>特記事項</p>		

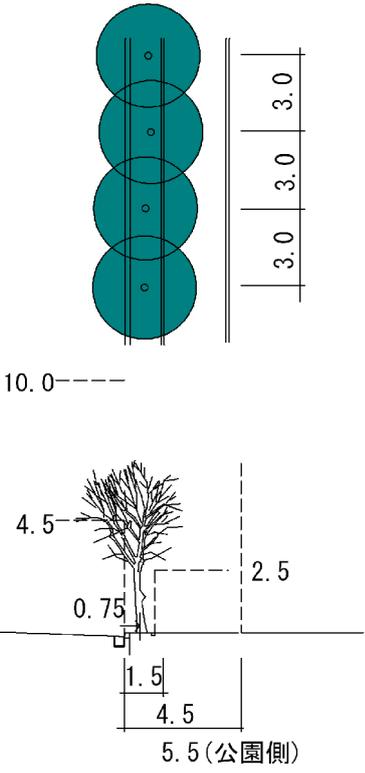
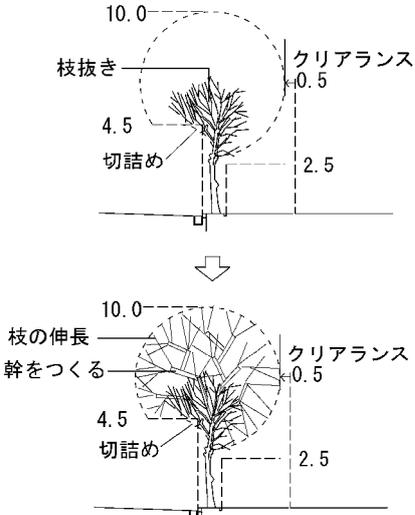
道路名：鏡原小緑線

<p>植栽樹種</p>	<p>タイワンフウ</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>		
<p>考察</p>	<p>タイワンフウは台風の影響を受け葉が枯れ始めているが、枝の伸長は良い。幹は公園側が40~50cm、住宅地側には100~120cmに育ったものもある。高さは7~10mになっており、10m程度で維持するのが良い。樹木の植栽間隔が民地側は1.5~2.0mと狭いものもあるが、樹木の生長に支障をきたすことはない。</p>	<p>タイワンフウ</p>  <p>※プロポーション $W=4.5-(0.75+0.5) \times 2=7.0$ $H=7 \div 0.7=10.0$</p>
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：維持・育成タイプ</p>	<p>自然樹形：円錐形</p>	
<p>計画樹冠：H=10m、W=6.0m（枝張り比=0.7）</p>		
<p>剪定の要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標高さまで育っているものは、枝抜きと樹冠線からはみ出た枝の切り詰め剪定を行う。 ・まだ目標高さまで至っていないものは、からみ枝などの枝だ透かしを行い樹冠の拡大を待つ。 ・樹形が円錐形なので $W=7m$ となるが、実際にはそれほど下枝は広がらないと考えられるため $6m$ として設定。 	
<p>特記事項</p>	<p>公園と隣接している場所の街路樹は、クリアランスを考慮せず歩道上を枝で覆い被すようにする。</p>	

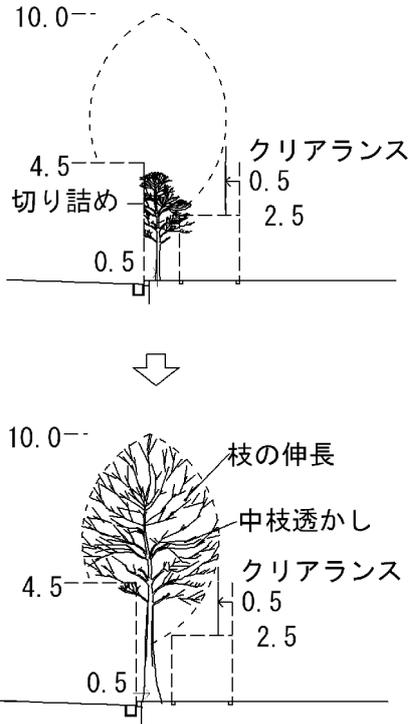
道路名：鏡原20号a

植栽樹種	台湾フウ	図面
現況写真		
考察	<p>台風の影響を受け、フィリインドゴムノキに枝折れ、台湾フウに落葉が見られるが回復は見込める。フクギにはまったく異常はない。</p> <p>台湾フウやフィリインドゴムノキの樹高は5~6m程度であり、あと一回り樹冠を大きくするのが良い。</p>	<p>台湾フウ</p>  <p>※プロポーション $W=4.5-(0.75+0.5) \times 2=7.0$ $H=7 \div 0.7=10.0$</p>
計画のテーマ・目標	剪定計画	
剪定タイプ：育成タイプ	自然樹形：円錐形	
計画樹冠：H=10.0・W=6.0m（枝張り比=0.7）		
剪定の要領	<p>・まだ目標高さまで至っていないため、当面はからみ枝などの枝透かしを行い、樹形を円錐形に定めながら樹冠の拡大を拡大を図る。</p> <p>・枝張りについては先述「鏡原小緑線」に準じ6mと設定。</p>	
特記事項		

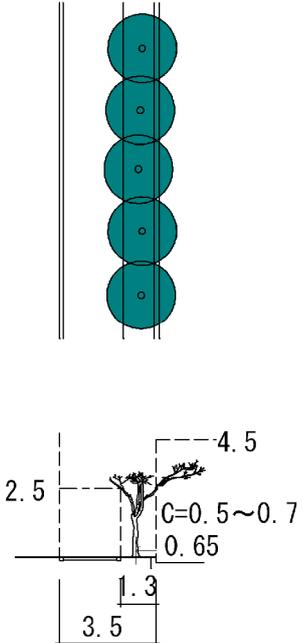
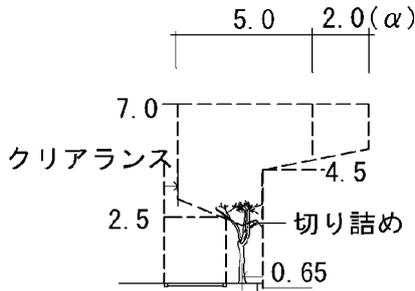
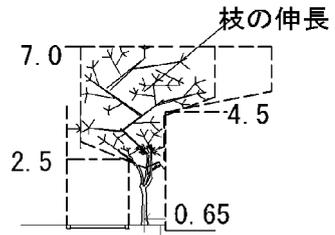
道路名：鏡原20号b

<p>植栽樹種</p>	<p>フイリインドゴムノキ</p>	<p>図面</p>	 <p>10.0</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>4.5</p> <p>0.75</p> <p>2.5</p> <p>1.5</p> <p>4.5</p> <p>5.5 (公園側)</p> <p>※プロポーション $W=4.5-(0.75+0.5) \times 2=7.0$ $H=7 \div 0.7=10.0$</p>
<p>現況写真</p>			<p>剪定計画</p>  <p>10.0</p> <p>枝抜き</p> <p>4.5</p> <p>切詰め</p> <p>2.5</p> <p>クリアランス 0.5</p> <p>↓</p> <p>10.0</p> <p>枝の伸長</p> <p>幹をつくる</p> <p>4.5</p> <p>切詰め</p> <p>2.5</p> <p>クリアランス 0.5</p>
<p>考察</p>	<p>考察</p>		<p>剪定計画</p>
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>計画のテーマ・目標</p>		<p>剪定計画</p>
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：玉形</p>		<p>剪定計画</p>
<p>計画樹冠：H=10.0. W=7.0m (枝張り比=0.7)</p>			<p>剪定計画</p>
<p>剪定の要領</p>	<p>樹高は目標高さまでまだ達していないので、樹形を形作る幹を決める。幹から発生する副主枝を残し、その他の不要な枝を剪定しながら樹形を大きく仕上げていく。</p>		<p>剪定計画</p>
<p>特記事項</p>	<p>ゴムノキの幹は軟弱で折れやすく、そのため樹形が崩れやすい。なので、しっかりした幹をつくるのがポイント。</p>		<p>剪定計画</p>

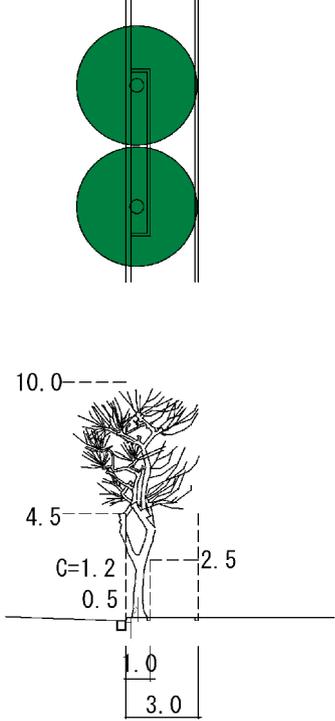
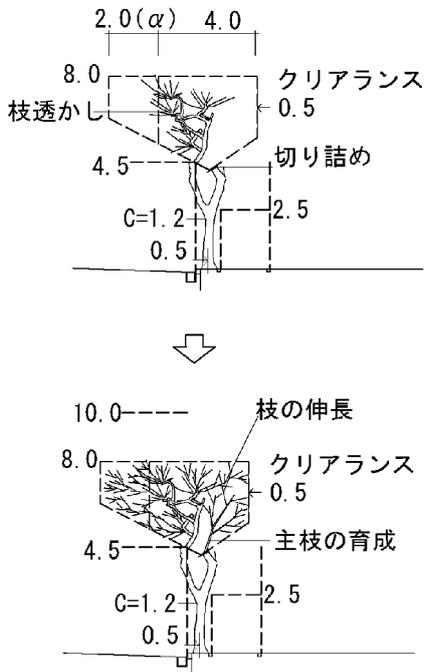
道路名：田原 11 号 a

植栽樹種	タブノキ	図面	
現況写真	 <p style="text-align: center;">タブノキ</p>		
考察	<p>まだ樹木が大きく育っていないため、緑化効果に乏しい。今後の生育を待つ必要がある。</p> <div style="text-align: right;"> <p>※プロポーション $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0$ $H=5 \div 0.6=8.0$</p> </div>		
計画のテーマ・目標	剪定計画		
剪定タイプ：育成タイプ	自然樹形：卵円形		
計画樹冠：H= 8.0. W=5.0m (枝張り比=0.6)			
剪定の要領	<p>当面は、建築限界にはみ出した交通に支障のある枝の切り詰め、混んだ中枝の透かしを主体に行い、樹冠を上部に形成するのを待つ。</p> 		
特記事項			

道路名：田原 11 号 b

植栽樹種	センダン	図面	
現況写真			
 <p>センダン（幹折れがある）</p>			
考察			
<p>樹冠が上部に行かないのは幾分風の吹き通りがあると考えられる。枝先の伸長具合は良いので、十分育成する。</p>		<p>※プロポーション $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0 + \alpha 2=7$ $H=5 \div 0.6=8.0$</p>	
計画のテーマ・目標		剪定計画	
剪定タイプ：育成タイプ	自然樹形：盃状形		
計画樹冠：H=8.0. W=7.0m（枝張り比=0.6）			
剪定の要領			
<p>先述タブノキに準ずる。</p>			
特記事項			
<p>植栽間隔が狭い</p>			

道路名：田原小緑中線

植栽樹種	ホウオウボク	図面	
現況写真			
 <p data-bbox="263 929 422 963">ホウオウボク</p>		 <p data-bbox="821 1108 1109 1220"> ※プロポーション $W=3.0-(0.5+0.5) \times 2=4.0$ $H=4 \div 0.5=8.0$ </p>	
考察			
<p data-bbox="183 1030 798 1142">台風の被害を受け葉は痛んでいるが、ホウオウボクの生育は良好。幹途中で剪定したコブが目立つ。幹の高い位置で剪定されている。</p>			
計画のテーマ・目標	剪定計画		
剪定タイプ：樹形再生タイプ	自然樹形：盃状形		
計画樹冠：H= 8.0. W=4.0m (枝張り比=0.5)			
剪定の要領			
<p data-bbox="183 1444 941 1568">高い位置で切除された幹は、改めて4~5m位置で切り詰めて、新たに萌芽する枝を利用して樹形を仕上げる。絡み枝など、混んだ中枝は透かす。</p>			
特記事項			

道路名：赤嶺2号

<p>植栽樹種</p>	<p>インドシタン</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div style="text-align: center;"> <p>インドシタン</p> </div>	
<p>幹途中で剪定され萌芽したインドシタン</p>	<p>※プロポーション $W=3.5-(0.5+0.5) \times 2=5.0+\alpha 2=7$ $H=5 \div 0.5=10.0$</p>	
<p>考察</p>	<p>以前に幹途中で切り詰められており、そこからたくさん萌芽している。</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成タイプ</p>	<p>自然樹形：盃状形</p>	
<p>計画樹冠：H=10.0 . W=7.0m (枝張り比=0.5)</p>		
<p>剪定の要領</p>		
<p>切断された場所から発生している枝から副主枝を残し、不要な枝は元から切除する。副主枝とする枝は、必要のある場合は切り詰めを行い、新たな萌芽を促す。 民有地側の枝は、建築限界にはみ出さないよう切り詰める。</p>		
<p>特記事項</p>		

道路名：小祿金城1号

<p>植栽樹種</p>	<p>ガジュマル</p>	<p>図面</p>
<p>現況写真</p>	<div data-bbox="268 327 635 808" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="268 819 533 853" data-label="Caption"> <p>剪定されたガジュマル</p> </div> <div data-bbox="1050 349 1161 719" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="938 801 1233 1032" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="820 1066 1225 1178" data-label="Text"> <p>※プロポーション $W=3 \cdot (0.5+0.5) \times 2=4.0 + \alpha 2=6.0$ $H=4.0 \div 0.5=8$</p> </div>	
<p>考察</p>	<p>幅員 3mと狭い歩道に大型種のガジュマルが植栽されている。生育にはばらつきがあり、高さは3~6m程度で樹冠が上に伸びていない。生育不良ではないが、ばらつきのある街路樹景観を建築限界をクリアしながら剪定で一定の形にまとめていく必要がある。</p>	
<p>計画のテーマ・目標</p>	<p>剪定計画</p>	
<p>剪定タイプ：育成・維持タイプ</p>	<p>自然樹形：傘状形</p>	
<p>計画樹冠：H=8.0. W=6.0m (枝張り比=0.5)</p>	<p>剪定の要領</p>	
<p>全体の樹冠を一定の大きさに保つようにする。 高さ 6m程度に至ったものは、樹形を考慮しながら中枝の整理を行いつつ維持タイプの剪定を行う。 高さがまだ目標に至っていないものは、中枝の整理を行い、建築限界にはみ出した枝を切り詰める。上方枝は切り詰めしない。</p>	<div data-bbox="1018 1256 1433 1570" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1018 1592 1433 1921" data-label="Diagram"> </div>	
<p>特記事項</p>		